



根木内の子ども・学校を支援する地域の応援団

おやじ通信

根木内おやじの会 ホームページ <http://ndc2010.jimdo.com>

平成30年7月1日発行

No. 89号



根木内おやじの会
の
アメーバブログ

根木内おやじの会事務局

根木内中学校内 担当 / 荒木

(TEL : 343-1268)



本気を出した子どもたちの集中力の凄さ

6月2日(土)、毎年地域の小学校を借りて開催されている「こどもまつり」が今年は根木内小学校で実施されました。おやじの会では恒例となった「お箸で豆運び」を運営しました。

このゲームは3組に分かれた子どもたちに着せ、制限時間内で一番重い容器にした子が勝ち、というゲームです。シンプルですが集中力を養うのに最適で、好成绩のためには必然的に箸使いも向上する、というメリットもあります。

やればやるほど上手くなるのを実感できるためリピーターが続出し、今年も閉会時間まで列が途絶えないほどの大人気でした。

こどもまつり出店
著しいの向上に貢献



鎌田氏はキャリア教育のあと、プログラミングの特別授業も

6月9日(土)、根木内小学校において6年生対象のキャリア教育「親の仕事」が実施されました。今回もおやじの会のメンバー10名が講師役として招かれ「児童の身近な人から仕事についての話を聞き、就労や職業への意識を向上させ、より良い進路選択の能力を育む」ためのお手伝いをさせていただきました。最終的には「自分にとってやりがいのある仕事をさがしたい」と児童に思ってもらったことがこの企画の目的です。

根木内小学校にてキャリア教育「親の仕事」
おやじの会のメンバーが講師役を務めました

講師役のメンバーは主に、①自分の仕事の概要 ②苦労していること、大変だなと思うこと ③仕事をしたい理由、仕事のやりがい ④自分にとって仕事をするとはどういう意味をもっているのかの4点を基本にして、15分ほどの間に精一杯の講義をしていきます。子どもたちは班ごとに受けた講義の教室を回るので、講師役は合計で4回児童の相手をする事になります。

今年で3度目になりますので多少は慣れてきたものの、慣れたら慣



仕事の意義とやりがいを熱く語る対馬氏

れたで次は自身の考える仕事の意義や意味について、あれもこれも話したい伝えたいと様々な思いが駆け巡り、さらには小学生にとってそれなりに魅力的と思われる授業にしてあげたいなどという欲も増え、試行錯誤の駆け足ながらも限られた時間を有効に使用しているような手応えを感じ始めた頃に、今年もあつという間の終了となりました。

つくづく思うのは、教える側の立場でありながら、実際にはこちらが大いに学ばされている、ということなんです。「先生」という仕事をする方々の凄さを毎回思い知らされます。

田中館校長先生をはじめ、6年生の先生方、今年も尊い機会を作ってくださいありがとうございます。ありがとうございました。



根木内おやじの会では会員を随時募集しています。子どものため、地域のため、地元の間をつくりのため、空き時間で人生を豊かにするため等老若男女の様々な会員が楽しく活動しています。怖がらなくて大丈夫。詳細は事務局がHPへお気軽にお問い合わせください。あなたのご参加お待ちしております！

※今年の夏は小金原団地夏祭りが中止のため、恒例となっていたおやじの会による出店もありません。

※「Gサポート」とは、「グリーンサポート」の略で、校庭内植物の手入れ作業です。

○7月9日(月) 根木中Gサポート
○12日(木) 根木小自転車県大会
千葉総合運動公園 体育館
○8月5日(日) 小金原2丁目祭り
焼きそばサポート

根木内おやじの会
7月以降活動予定